

地球上では、政の為に起きる闘い、天変地異や感染症発症による人類の危機など、いにしえから今日まで、  
 終える事なく続いている。時に新たな知見や経験は、それらから救済される礎となり得る。一方、日々  
 の営みや、美しく雄大な自然と向き合い生まれる喜怒哀楽は、人々の日常だ。差し詰め、人は窮地に立た  
 された時、自ずと願い、或いは感謝し、祈りへとその心を浄化させていくのではないだろうか……

祈りの聖地、吉野・高野からコロナの終息を願う時、いにしえに詠まれた万葉集が見えて来た。世界中を  
 蝕む感染症に混乱する今だからこそ、国家の礎を築く動乱時期の万葉集に惹かれるのかもしれない。

2021年 春 金森江仙

奈良県立万葉文化館  
 2021. 2/18(水)~21(日)

フェニーチェ堺  
 2021. 3/19(金)~22(月)

東京・日本橋  
 山津ギャラリー  
 2021. 4/19(月)~24(土)



Kosen-Works

金森江仙

嘉仙・杏仙  
 結仙・香仙  
 燦仙・幸仙  
 朗仙・洋仙  
 昇仙・啓仙  
 華仙・好仙



**Kosen-Works** 104-3 Kamuro Hashimoto-shi Wakayama ☎648-0043  
 ☎0736-33-2953 ➡090-9623-8460 ✉ksw.kanamori34@gmail.com

**Kosen Kanamori**  
 Atelier:Wakayama,Nara,Osaka <http://kosenkanamori.com/page/>

書家	選択	釈文
山下洋仙	創作	「大和」・「勇」・「造」
吉村嘉仙	巻3-328	あおによし寧楽(奈良)の京師は咲く花の薫ふがごとく今盛りなり
	藍紙本万葉集	臨書
重永結仙	巻1-8	熟田津に船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ今は漕ぎ出でな
	巻4-488	君待つと我が恋ひ居れば我が宿の簾動かし秋の風吹く
	巻1-18	三輪山をしかも隠すか雲だにも情あらなむ隠さふべしや
	巻1-20	あかねさす紫野行き標野行き野守は見ずや君が袖振る
	巻2-112	古に恋ふらむ鳥は霍公鳥けだしや鳴きしわが念へる如
松谷好仙	巻18-4114	石竹花が花見のごとに少女らが笑まひのにほひ思ほゆるかも
	巻15-3638	これやこの名に負ふ鳴門の渦潮に玉藻刈るとふ海人少女ども
具足啓仙	金沢本・桂本万葉集	臨書
吉岡朗仙	巻2-103	「雪」わが里に大雪降り大原の古りにし里に落らまくは後
	巻1-56	「椿」河の辺りのつらつら椿つらつらに見れども飽かず巨勢の春野は
福田華仙	巻1-37	見れど飽かぬ吉野の河の常滑の絶ゆることなくまた還り見む
	巻1-74	み吉野の山の嵐の寒けくにはたや今夜もわが独り寝む
稲葉昇仙	巻2-169	あかねさす日は照らせれどぬばたまの夜渡る月の隠らく惜しも
	巻2-168	ひさかたの天見のごとく仰ぎ見し皇子の御門の荒れまく惜しも
	巻8-1431	百済野の萩の古枝に春待つと居りし鶯鳴きにけむかも
	創作	「般若心経」
金森幸仙	巻9 1740-1741	「浦島太郎」
住田香仙	巻1-21	紫草(むらさき)のにほへる妹を憎くあらば人妻ゆゑにわれ恋ひめやも
	西本願寺本万葉集	臨書
岩田杏仙	巻8-1512	経もなく緯も定めず娘子(少女)らが織(れ)る黄葉に霜な降りそね
	巻3-416	百伝ふ(ももづたふ)磐余の池に鳴く鴨を今日のみ見てや雲隠りなむ
	創作	「はかなく」
吉井燁仙	巻2-105	わが背子を大和へ遣るとさ夜ふけて暁露にわが立ち濡れし
	巻2-165	うつそみの人にある我や明日よりは二上山を弟世とわが見む
	巻2-163	神風の伊勢の国にもあらましをなにしか来けむ君もあらなくに

「礎」2点・「防人歌」  
「国褒め歌-巻一2から」・「火」・「大祓詞-高坏版」  
「遣唐使へ贈る-山上憶良巻五 894から」  
「大祓詞縦ロール版」  
「光」・「法華経巻第五藤南家経」  
「払拭」・「持統天皇巻一28から-修復紙版」

コロナが世界を蝕む今、古の言葉に耳を傾け、静かに筆を執る。平穏な日常を取り戻すかのように。Kosen-Worksでは、創作の書と共に古の記述に敬意を込めて四種の万葉集を臨書、出展する。